

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
1	八戸市文化賞等表彰事業	S38	当市の文化の向上発展に貢献したものを表彰する	多年にわたり当市の文化の向上発展に貢献し、その功績が優れていると認められるもの(文化賞)や、現に功績が優れ、将来その活躍が一層期待されるもの(文化奨励賞)に該当するものを広く公募し、推薦があった者を審査の上、表彰状等を授与する。	136	245	文化賞受賞者 5名 文化奨励賞受賞者 なし 表彰式 平成28年11月16日	文化賞受賞者 7名 文化奨励賞受賞者 2名・2団体 表彰式 平成29年11月15日 ※29年度から表彰基準を具体的に明文化し、推薦の一般公募を行っている。	引続き、文化芸術関係の功績がある者に関する情報収集に努めながら、関係団体等への推薦依頼、及び広報による一般公募の周知などを行い、継続実施。	まちづくり文化推進室
2	多文化都市八戸推進懇談会	H20	多種多様で特色ある市民の自主的な文化活動を「多文化」と捉え、八戸が持つ多文化の力を結集させ、地域活力の創出を図るため、有識者等により市の文化芸術施策等について議論する。	市の多文化推進のための施策について助言や提言を頂く。 委員構成:学識経験者、八戸市文化協会、文化芸術関係者、公募委員	181	303	H28.6.30 第1回懇談会(多文化都市八戸推進事業補助金の審査について、文化芸術事業の実施状況について、八戸ブックセンターについて、新美術館整備基本構想(案)について) H28.11.8 第2回懇談会(多文化都市八戸推進事業補助金の審査について、多文化都市八戸推進事業の見直しについて、文化芸術事業の実施状況について、過疎地域自立活性化優良事例表彰(総務大臣賞)受賞について)	H29.7.3 第1回懇談会(多文化都市八戸推進事業補助金の審査について、平成29年度文化芸術事業の概要について ほか) H29.11.7 第2回懇談会(多文化都市八戸推進事業の見直しについて、俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会への加入について ほか) H30.3.20 第3回懇談会(多文化都市八戸推進事業の見直しについて、文化芸術事業の実施状況について ほか)	平成24年度から「(仮称)多文化推進ビジョン」の策定に向けた検討を開始し、27年12月に「八戸市文化のまちづくりビジョン」を策定した。今後は、適宜、懇談会の意見を聴取しながら、ビジョンに基づき施策を展開していく。	まちづくり文化推進室
3	文化協会補助金	S36	本市における芸術・文化活動の振興を図るため、八戸市文化協会に対し、行政と各種文化団体との間の連絡調整及び情報交換の推進等の文化振興事業に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。	本市における芸術・文化活動の振興を図るため、八戸市文化協会に対し、行政と各種文化団体との間の連絡調整及び情報交換の推進等の文化振興事業に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。	2,629	2,629	八戸市文化協会の事業遂行及び運営のために必要な経費を補助 補助金交付決定額 2,628,400円	八戸市文化協会の事業遂行及び運営のために必要な経費を補助 補助金交付決定額 2,628,400円	加盟団体からの会費額の見直しのほか、事業収入など自主財源の確保に努めているが、自主財源のみで運営するのは難しく、現在行っている事業の継続、当市の文化芸術の向上のためにも、今後も補助金の交付を継続したい。	まちづくり文化推進室
4	文化団体出演補助金	H13	国際及び全国レベルの大会に出演し、他団体の芸術文化に触れることにより、本市における文化活動発展の原動力となること期待されるため、交通費等にかかる経費の一部を補助する。	国際及び全国レベルの大会に出演し、他団体の芸術文化に触れることにより、本市における文化活動発展の原動力となること期待されるため、交通費等にかかる経費を補助する。(上限額は大会の種別による) ○国際大会(国外)30,000円/人 ○国際大会(国内)及び全国大会 開催地域によって5,000円、3,000円、2,000円/人 ○国民文化祭 10,000円/人	254	300	補助対象事業出演に要する経費のうち、交通費、宿泊費、道具運搬費を補助 補助金交付団体が出演した大会等(計8件) 第39回全日本おおかあさんコーラス全国大会、第37回全国中学生選抜将棋選手権大会、第127回全国吟道大会、第31回国民文化祭あいち2016「小倉百人一首競技かるた全国大会」、第31回国民文化祭あいち2016「邦楽の祭典」、第44回バントワーリング全国大会、第42回全日本バントワーリング選手権大会、第18回日本太鼓ジュニアコンクール	補助対象事業出演に要する経費のうち、交通費、宿泊費、道具運搬費を補助 補助金交付団体が出演した大会等(計5件) 第32回国民文化祭なら2017 王寺町ハンドベルフェスタ!、第32回国民文化祭なら2017小倉百人一首競技かるた全国大会、第32回国民文化祭なら2017日本舞踊の祭典、第45回バントワーリング全国大会、第27回日本クラシック音楽コンクール	文化団体及び個人の活動発展を支える補助金であるため、今後も補助金の交付を継続したい。	まちづくり文化推進室
5	八戸小唄まつり事業補助金	H23	八戸市制施行の2年後に誕生した「八戸小唄」は、八戸市を全国にPRするために作られ、歌詞の中には、鮫の岬、湊橋、長根など各地地名、うみねこ、菊といった八戸の風物が織り込まれており、今なお歌い、踊り続けられ市民に愛されている。その「八戸小唄」のさらなる普及と次世代への継承を図ることを目的とする。	八戸小唄誕生の頃から新井田川にかかる唯一の橋であり、歌詞に出てくる「湊橋」を中心とした地域において開催される「湊橋八戸小唄まつり」と八戸小唄発祥の「石田屋旅館」のある鮫町で開催される「さめ浜まつり」に対し「八戸小唄」のさらなる普及と次世代への継承を図ることを目的として補助金を交付。	700	700	○第17回さめ浜まつり(平成28年7月24日、蕪島神社～蕪島海浜公園)にかけて開催 内容:八戸小唄の流し踊り・正調八戸小唄・八戸小唄音頭の披露、八水大漁太鼓、墓獅子、神輿海上渡御、青年会山車運行など 来場者:約3,000名 ○第6回湊橋八戸小唄まつり(平成28年7月23日、湊本町～湊橋～小中野)にかけて開催 内容:八戸小唄流し踊り、正調八戸小唄披露、賛助歌謡ステージ、夜店営業など 来場者:2,000名	○第18回さめ浜まつり(平成29年7月23日、蕪島神社～蕪島海浜公園)にかけて開催予定→雨天中止) ○第7回湊橋八戸小唄まつり(平成29年7月29日、湊本町～湊橋～小中野)にかけて開催 内容:八戸小唄流し踊り、正調八戸小唄披露、賛助歌謡ステージ、夜店営業など 来場者:2,000名	今後も、地域の実施主体による継続的な開催を支援し、内容の充実を図り、八戸小唄の更なる普及・伝承に努めたい。	まちづくり文化推進室
6	演奏会補助金	H24	当市における音楽活動の振興、管弦楽、弦楽及び吹奏楽の演奏会を通じて、市民が芸術性豊かな音楽に触れる機会を提供する。	市内に拠点をおき、市民が半数以上で構成される10人以上のアマチュア管弦楽、弦楽及び吹奏楽合奏団の行う演奏会について、八戸市公会堂ホールを使用した場合、演奏会当日及びリハーサル1日分の公会堂使用料を補助する。(上限20万円)	440	600	補助金交付先(計3件) 八戸市民フィルハーモニー交響楽団、八戸ジュニア・オーケストラ、インフィニート・コラルコ	補助金交付先(計4件) 八戸市民フィルハーモニー交響楽団、八戸ウインドアンサンブル、八戸ジュニア・オーケストラ、インフィニート・コラルコ	広く音楽団体の活動を支援することにより多様な音楽に触れる機会の創出を図るべく制度の周知に取り組みながら、今後も継続したい。	まちづくり文化推進室

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
7	多文化都市八戸推進事業補助金	H20	多様で特色ある市民の自主的な文化活動を支援することにより、まちの魅力創造を図る	先駆的・実験的・創造的な芸術文化活動に対して、補助金を交付する。 対象経費×1/2、上限100,000円/団体	500	500	H28.4.19 補助金交付要領、審査基準制定 H28.4.20-5.31 補助事業を公募(広報、市HP掲載、市庁舎、サービスセンター、公民館等でチラシ設置、市内高校・短大・大学・専門学校へ要項送付) H28.6.30 平成28年度第1回多文化都市八戸推進懇談会において審査し、3件採択(応募3件) H28.7.27 採択団体に対して交付決定通知 H28.8.19-10.31 補助事業を追加募集 H28.11.8 平成28年度第2回多文化都市八戸推進懇談会において審査し、2件採択(応募2件)※うち1件は会場使用料の減免のみ	H29.4.17 補助金交付要領、審査基準制定 H29.5.1-6.30 補助事業を公募(広報、市HP掲載、市庁舎、サービスセンター、公民館等でチラシ設置、市内高校・短大・大学・専門学校へ要項送付) H29.7.3 平成29年度第1回多文化都市八戸推進懇談会において審査し、3件採択(応募3件) H29.7.5 採択団体に対して交付決定通知	H30年度より市公民館・南郷文化ホール・八戸ポータルミュージアムの会場使用料減免併用を廃止することとしたほか、制度説明会等を開催し、制度の浸透及び事業実施者間の交流を促進する。	まちづくり文化推進室
8	多文化都市八戸推進ワークショップ支援事業	H20	八戸市公民館、八戸市南郷文化ホール、八戸ポータルミュージアムのいずれか1つを使用して、文化的なワークショップを開催するに当たり、八戸市が共催し支援することで本市の多文化を推進する。	対象施設(楽屋、附属設備等を含む。)の施設使用料の全額免除、ワークショップ開催のPR	-	-	H28.4.17 実施要領制定 H28.5.1- 対象事業を公募(広報、市HP掲載、市庁舎、サービスセンター、公民館等でチラシ設置、市内高校・短大・大学・専門学校へ要項送付)(H28年度実績 1件(親子を対象とした、三味線、小太鼓の演奏や扇子を持つでの舞踊を体験するワークショップ))	H29.4.17 実施要領制定 H29.5.1- 対象事業を公募(広報、市HP掲載、市庁舎、サービスセンター、公民館等でチラシ設置、市内高校・短大・大学・専門学校へ要項送付)(H30.3.1時点 申請なし)	H30年度より対象施設から八戸ポータルミュージアムを除外することとしたほか、制度説明会等を開催し、制度の浸透及び事業実施者間の交流を促進する。	まちづくり文化推進室
9	南郷アートプロジェクト	H23	地域課題と向き合いながら、南郷文化ホールを拠点として、地域住民とともにアートプロジェクトの企画・運営を行うことにより、アートの力を活用して豊かな地域資源の魅力を発信し、活力あふれる地域社会の形成に資する。	住民がつくり上げてきた南郷の日常生活を「地域固有の文化」としてとらえ、その価値を再発見・発信するアートプロジェクトを実施する。	26,387	28,761	「なんごうをあつめる。」をテーマに以下のプロジェクトを実施。 ■ダンス公演「えびす大黒道中」 ■「旬をあつめる。】【ダンス公演】大駱駝艦金粉ショーinひまわり畑 内容:山の染校のひまわり畑を背景に、大駱駝艦の金粉ショーを開催 ■「旬をあつめる。】【ワークショップ】旬を楽しむ ■物語をあつめる。ーなんごうカルタ ■食をあつめる。「食通ーFood correspondenceー」(香川県高松市との食の文通) ■知恵をあつめる。(勉強会、シンポジウム開催)	28年度のテーマを継承し、30年度実施予定の芸術祭に向け以下のプロジェクトを実施。 ●躍動をあつめる。ーダンス公演 DANCE×JAZZ vol.6 ●物語をあつめる。ーなんごうカルタ ●食をあつめる。ーなんごうレシピ ●夏企画「旬をあつめる。2017」(展示とダンスパフォーマンス) ●色をあつめる。(染色ワークショップ) ●技をあつめる。(南郷のプレゼンテーションプラン) ●郷土をあつめる。(南郷に縁深いクジラ漁を題材にした演劇脚本のプロット制作)	30年度に「なんごう小さな芸術祭」として、これまでの南郷アートプロジェクトで実施してきた内容を踏まえた芸術祭を開催予定。(30年10月下旬~11月上旬) 地域資源をアートでとらえなおすアートプロジェクトは、新美術館で展開する事業モデルとなりうるものであり、新美術館のプログラムづくりにも生かす。	まちづくり文化推進室
10	八戸工場大学	H25	八戸に数多くある工場を地域の資源として捉え、創造的側面からアプローチすることで八戸の工場の新しい魅力を市内外に発信し、継続的で開かれた市民活動の場を創出する。	これまで培ってきた市内工場とのネットワークと受講生のアイデアを活用し、対外的にも訴求力のあるアートプロジェクトを実施するための実施体制を強固にし、受講生とともに企画・運営する。 ○講義・・・工場を知る講義、工場を景観から捉えた講義、アーティストによる工場とアートをつなぐワークショップを開催 ○課外活動・・・工場見学や海上からの工場夜景鑑賞を実施 ○アートプロジェクト・・・受講生、工場、アーティストでつくりあげるアートプロジェクトの実施。受講生だけでなく、広く市民に工場について知ってもらうためのプログラムでもある。	3,775	4,551	講義は市内工場からの講義(高周波鑄造株式会社、北日本造船株式会社、八戸臨海鉄道株式会社)、八戸の港湾について(商工課)、アーティストによるワークショップ(東京藝術大学 佐藤時啓教授)を実施した。 課外活動は、八戸港湾運送株式会社の工場見学と、船上からの工場夜景鑑賞を行った。 サークル活動としてのアートプロジェクトは、八戸ポータルミュージアムはつちで行われる「はつち市」への参加と、アートイベント「虹色の狼煙」を行った。	講義は市内工場からの工場を知る講義(八戸バイオマス発電、アルバック東北、八戸セメント×近畿大学教授 岡田昌彰)、工場夜景で地域活性!(富士工場夜景倶楽部)、工場の本を楽しもう!(八戸ブックセンター)、アーティストによるトーク&ワークショップ(アーティスト Sacco)を実施した。 課外活動は、北日本造船株式会社の工場見学を行った。 サークル活動としてのアートプロジェクトは、八戸ポータルミュージアムはつちで行われる「はつち市」への参加と、「八戸・工場アート展」(市内の工場をモチーフに制作された絵画作品や、工場の写真、タワー模型などを受講生主体で制作展示)を行った。	30年度も引き続き、市民と協働で八戸市の工場を題材とし、講義、課外活動、アートプロジェクトを実施。これまで構築してきた工場とのネットワークとアーティストとのつながりを深め、また、八戸工場大学を通じて、八戸の工場の魅力発信に力をいれていく。 地域資源をアートでとらえなおすアートプロジェクトは、新美術館で展開する事業モデルとなりうるものであり、新美術館のプログラムづくりにも生かす。	まちづくり文化推進室
11	八戸市文化政策アドバイザー派遣事業	H22	文化芸術の持つ創造性を活用した「アートのまちづくり」推進のため、専門的知見とノウハウについて助言を受ける。	文化芸術の持つ創造性を活用した「アートのまちづくり」推進のため、文化芸術を用いた地域活性化に関する専門的知見とノウハウを有する人材に依頼し、主にアートプロジェクトの実施に関する助言を受ける。	100	434	平成29年1月に来八していただき、主にアートプロジェクト・美術館の建て替えに伴った美術館との連携などについての助言を受けた。	平成29年7月、平成30年2月の2回来八していただき、主にアートプロジェクト、美術館の建て替えに伴った美術館との連携、昨今の国の文化行政の動きなどについての助言を受けた。	30年度も引き続き、助言をいただきながら、各種プロジェクトを実施していく予定。	まちづくり文化推進室

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
12	「文化のまちづくりビジョン」の推進	H27	市の文化政策を効果的に実施するため、指針として作成した文化のまちづくりビジョンの推進を行う。	市の文化政策を有効性のあるものとし、長期的な視点で計画的に実施するため指針として作成した「八戸市文化のまちづくりビジョン」(平成27年12月策定)の推進を行う。	-	-	庁内各課で実施している文化芸術関連事業の実施状況等調査を年2回実施。多文化都市八戸推進懇談会で報告を行い、委員からの意見を頂いている。	庁内各課で実施している文化芸術関連事業の実施状況等調査を実施。多文化都市八戸推進懇談会で報告を行い、委員からの意見を頂いている。	30年度も引き続き、事業実施状況の把握につとめ、当ビジョンは32年度までの期間としていることを踏まえ、「文化芸術基本法」で努力義務とされている地方自治体の「地方文化芸術推進基本計画」について、他都市の参考事例を収集する。	まちづくり文化推進室
13	文化施設連携事業	H29	市内文化施設等が実施する文化芸術事業の情報集約を連携して行い、市民に提供することで、各施設の回遊性を高めるとともに、市民が文化芸術を享受するきっかけを創出する。	文化施設及びその他関係施設等で実施される文化芸術関係のイベントや助成金情報などを横断して収集し、その情報を市内文化施設等でのチラシ配布やラジオ放送により周知	-	560	-	●市内文化施設等で実施する文化芸術関係のイベント情報、助成金情報などを横断して集約した月刊「八戸アート情報」を発行(H29.5～)し、市内文化施設等へ配布・設置している。 ●BeFMのラジオ番組(毎週火曜夕方)で上記チラシの内容ほか、文化施設等の担当者をゲストに直接イベント等の詳細を紹介しながら、PR等を行う。	30年度も引き続き、29年度の取り組みを継続するほか、新聞への広告掲載でより広く市民に情報が伝わるよう取り組んでいく。	まちづくり文化推進室
14	八戸市公民館運営事業	S52	八戸市全域の住民の教養向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する	指定管理者(株式会社アート&コミュニティ)と連携し、八戸市公会堂・南郷文化ホールと一体的な管理運営を行う。 ホールは間口14m、奥行き8.5m、高さ7.5mの舞台を有し、収容人員は492人となっている。舞台は、迫り上げ装置1基、各種の音響、照明機材を備え、楽屋4室が設備されている。他に会議室4室、和室2室、講義室、調理室、展示室、展示ロビーの設備がある。	850	1,656	指定管理者制度(3/5年目) ・備品購入 コンデンサーマイクロホン 液晶テレビ 消耗品購入 シートクッション	指定管理者制度(4/5年目) ・備品購入 プロジェクター、ズームレンズ コンデンサーマイクロホン B4対応ファイルワゴン(もぎり台) マイクスタンド	指定管理者制度5期目を迎え、次期指定管理者公募選定作業に向け、施設の稼働率向上等、より市民が使いやすい施設となるよう検討を進める。	まちづくり文化推進室
15	南部会館運営事業	H20	伝統的文化の普及および振興を図るとともに、市民生活の向上に寄与することを目的として文化教養センター南部会館を設置し、適切な管理運営を行う。	八戸市文化教養センター南部会館(指定管理者:(一財)八戸市オールオール厚生会)の管理運営を行う。 最大で144畳となる和室のほか、板の間、舞台などを備えた集会施設。和室A(24畳)、和室B、C、D(各48畳・一括使用144畳)、舞台(49.7㎡)、板の間(39.6㎡)、準備室(15.0㎡)、控室(4.5畳)、四阿(13.63㎡)。	5,921	14,640	H28.4.1 南部会館指定管理委託契約(3/5年目) H28.8 台風7号の強風により倒木したカイドウの撤去	H29.4.1 南部会館指定管理委託契約(4/5年目) ・樹木等補修:ニシギギ補強養生作業 ・土砂埋設:H28台風10号通過後に陥没した箇所埋設 ・樹木伐採:南部会館裏の高木伐採業務	指定管理者制度5期目を迎え、次期指定管理者公募選定作業に向け、より市民が使いやすい施設となるよう検討を進める。	まちづくり文化推進室
16	八戸南部氏庭園事業	H17	藩政時代の庭園芸術を今日に伝える「南部氏庭園」を多くの方々に鑑賞して頂く。	庭園内のツツジの開花及び紅葉の時期に合わせて、年2回、各4日間開園する。 また、開園に合わせ俳句大会(H29より春のみ)を実施する。	5,982	4,751	H28.5.27(金)～5.30(月) 春の開園 総入場者数 1,816人 H28.10.21(金)～10.24(月) 秋の開園 総入場者数 721人	H29.5.19(金)～5.22(月) 春の開園 総入場者数 1,074人 H29.10.20(金)～10.23(月) 秋の開園 総入場者数 373人 ※10/23 雨天中止	現在のように期間を限定した開園を続けながら、南部氏庭園のよりよい活用方法について検討して参りたい。	まちづくり文化推進室
17	八戸市公会堂運営事業	S52	当市における芸術文化の普及振興を図り、市民生活の向上に寄与する	指定管理者(株式会社アート&コミュニティ)と連携し、八戸市公民館・南郷文化ホールと一体的な管理運営を行う。 大ホールは間口18m、奥行き18m、高さ9mのプロセニウム形式の舞台を有し、収容人員は1,624人となっている。また、天井可動装置使用により、大ホールの2階客席を塞ぎ、収容人員1,060人の中ホールとしても使用できる。舞台はオーケストラピット、迫り上げ装置1基、各種の音響、照明機材を備え、楽屋8室と浴室が設備されている。他にリハーサル室(兼大会議室)、小会議室、展示ホールの設備がある。	289,262	332,991	指定管理者制度(3/5年目) ・備品購入 コンデンサーマイクロホン 液晶テレビ 消耗品購入 シートクッション	指定管理者制度(4/5年目) ・備品購入 スタッキングチェアー、ポーター 舞台箱馬、木台 マイクスタンド ・工事・委託 耐震改修業務委託(～30年度) 舞台吊物機構設備改修工事(3/3期目) アスベスト分析調査業務委託 擁壁コンクリート強度調査業務委託	指定管理者制度5期目を迎え、次期指定管理者公募選定作業に向け、施設の稼働率向上等、より市民が使いやすい施設となるよう検討を進める。	まちづくり文化推進室

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
18	八戸市公会堂文化事業	S50	鑑賞型だけではない多様な文化事業を行い、幅広い年代の方々に、心の豊かさや生活の潤いをもたらす。	年間を通して、施設の設置目的に則したものを概ね5回以上実施する。 事業の実施に際しては、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)及び劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針(平成25年文部科学省告示第60号)の趣旨を踏まえるとともに、他の文化施設・公共機関とのネットワークの活用、広報の充実及び市の文化施策推進について考慮する。	5,500	5,500	松竹大歌舞伎、組踊、こどもオペラ「三匹のこぶた」、角笛シルエト劇場、第37回新人演奏会、館野ファミリー&フレンズコンサート、八戸パフォーマンス劇場・はちのへ子どもフェスタ、リー・リトナー&ジャパニーズフレンズコンサート	県民参加型舞台劇「君の声」、こどもオペラ「魔法の笛」、「宝くじまの音楽会」、薪能ワークショップ(史跡根城新能)、角笛シルエト劇場、ディズニー オン クラシック2017、第38回新人演奏会、八戸パフォーマンス劇場・はちのへ子どもフェスタ	継続して実施していく一方、基金残高を踏まえると今後10年以内に枯渇が見込まれることから、事業のあり方自体を含め検討して進めて参りたい。	まちづくり文化推進室
19	南郷文化ホール運営事業	H20	芸術文化の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化の普及振興を図るとともに広域的文化交流を促進し、市民生活の向上に寄与する	指定管理者(株式会社アート&コミュニティ)と連携し、八戸市公会堂・公民館と一体的な管理運営を行う。 ホールは間口16.8m、奥行8.5m、高さ7mの舞台を有し、収容人員は450人となっている。また、1階は、410人の可動席を収容し約20m四方のオープンスペースとして使用が可能である。2階にはガラスで仕切った親子席10席も設けてあり、幼児子どもと一緒に鑑賞ができる。舞台は各種の音響、照明機材を備え、楽屋4室とシャワー室2室が設備されている。	7,195	8,025	指定管理者制度(3/5年目) 備品購入 事務室耐火金庫 ムービングライトスポットタイプ	指定管理者制度(4/5年目) 備品購入 プロジェクター、ズームレンズ ムービングライトスポットタイプ 消火器 セールスマンデスク、ホワイトボード	指定管理者制度5期目を迎え、次期指定管理者公募選定作業に向け、施設の稼働率向上等、より市民が使いやすい施設となるよう検討を進める。	まちづくり文化推進室
20	南郷名画座事業	H21	「映画」を切り口とした文化芸術への関心を促すとともに、世代間交流を促進し、南郷地域へ目を向けてもらう機会を創出することにより、文化芸術を活用した過疎地域の活性化を図ることを目的とする。	夏と冬の年2回、南郷文化ホールにおいて旧作名画を中心に1日2回上映×2日間実施。 映画上映のほか、会所場づくりのための付帯イベントを実施する。 (例)・トークイベント ・ロビー展 ・休憩所設置 ・近隣施設との連携(図書館での関連図書の展示、道の駅産直から出張販売等) ・フォーラム八戸をはじめとする中心街との連携、映画音楽鑑賞機会の提供等	3,986	4,300	H28年度 文化庁、東京国立近代美術館フィルムセンターの「優秀映画鑑賞推進事業」活用あり。(八戸市優秀映画鑑賞推進実行委員会を組織) ・トークゲスト 女優片桐はり氏の選による旧作名画を上映(第1回上映会)。 ・市図書館、南郷図書館及び八戸ブックセンターに関連書籍コーナーを設置したほか、フォーラム八戸で片桐氏出演の映画上映やトークイベント等の連携企画を実施。	H28年度 文化庁、東京国立近代美術館フィルムセンターの「優秀映画鑑賞推進事業」活用あり。(八戸市優秀映画鑑賞推進実行委員会を組織) ・トークゲスト 女優片桐はり氏の選による旧作名画を上映(第1回上映会)。 ・市図書館、南郷図書館及び八戸ブックセンターに関連書籍コーナーを設置したほか、フォーラム八戸で片桐氏出演の映画上映やトークイベント等の連携企画を実施。	・高齢者の外出の機会を促し、新たな交流の場としての「会所場づくり」を実現するため、高齢者の若い頃の代表的娯楽である映画(八戸ゆかりの作品にこだわらない旧作)の上映会として継続していく。 ・高齢者のみならず若い世代にもPRする。	まちづくり文化推進室
21	八戸ブックセンター管理運営	H28	「本のまち八戸」の拠点施設として、ブックセンターの運営を行う。	中心市街地に知的好奇心を満たす場としてブックセンターを開設することにより、来街者の増加と回遊性の向上を図り、中心市街地の活性化に繋げる。	49,609	52,105	○ブックセンター開設前 ・運営体制の構築 ・条例・規則などの制定 ・初期在庫の発注 ・備品購入 等 ○ブックセンター開設後 ・施設運営	・施設運営 ・クレジットカード運用に向けた準備作業	入館者数の増加を目指し、企画事業の充実を図っていく。	まちづくり文化推進室 八戸ブックセンター
22	八戸ブックセンター企画事業	H28	「本を読む人を増やす」「本を書く人を増やす」「本でまちを盛り上げる」の3つの基本方針のもと、各種事業を行う。	本に関する新たな公共サービスを提供することで、市民の豊かな心を育み、本のある暮らしが当たり前となる文化の薫り高いまちを目指す。	19,065	25,733	・プレ事業として、はっちの箱古本市内でのパネル展、トークイベントを実施 ・オープニングセレモニー、トークイベントの実施 ・オープニングイベント「土地と声」の実施 ・オープニング記念ギャラリー展「司修と三浦哲郎」をはじめとしたギャラリー展の実施 ・アカデミックトークの実施 ・本のまち読書会の実施	・ギャラリー展の実施 ・アカデミックトークの実施 ・本のまち読書会の実施 ・ブックドリンクの実施 ・「月の満ち欠け」等パワーブッシュ事業の実施 ・1周年記念イベント 朗読劇「銀河鉄道之夜」の実施	入館者数の増加を目指し、企画事業の充実を図っていく。	まちづくり文化推進室 八戸ブックセンター
23	八戸国際交流協会への補助金交付	H9	地域における国際交流の核となる協会への補助金交付により、協会が実施する事業を通じて、国際感覚あふれる人づくり、住民の国際意識の高揚、国際社会における相互理解の推進、国際親善への貢献をするもの。	<根拠> 八戸国際交流協会事業補助金交付要領 <補助額> 補助対象経費の1/2に相当する額又は1,100,000円のいずれか低い額 (平成29年度八戸国際交流協会事業補助金交付要領第3) <補助対象事業> 八戸国際交流協会が行う事業のうち、広く地域住民を対象とした事業を対象とし、協会会員及び特定の人だけを対象とした事業を除く。	1,100	1,100	・平成28年5月24日 交付申請書受理 ・平成28年5月30日 八市連第5号 により交付決定(1,100,000円) ・平成28年6月20日 補助金支払 ・平成29年3月31日 実績報告書受理 ・平成29年4月28日 補助金確定通知	・平成29年6月7日 交付申請書受理 ・平成29年6月15日 八市連第4号 により交付決定(1,100,000円) ・平成29年6月30日 補助金支払 ・平成30年3月31日 実績報告書受理(見込) ・平成30年4月 日 補助金確定通知(見込)	協会設立当初においては、協会は当市の国際交流事業を推進する主体となり、行政と民間が一体となって地域における多面的な国際交流の推進を進めていくとしている。市としては、協会が実施する広く地域住民を対象とした事業は公益上必要があるものとして認識し、今後も継続して補助金交付を実施予定。	市民連携推進課

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
24	八戸大使ふるさとセミナー	H19	八戸市の次代を担う人材を育成する。	八戸市の次代を担う人材を育成することを目的に、八戸市内の教育機関の要請に応じ、八戸特派大使を講師として派遣し、八戸大特派使からその豊かな知識や経験に基づき児童・生徒・学生を対象に講演をしていただく。(八戸特派大使には、落語家、歌人等がいる)	490	772	開催13校	開催13校	引き続き、八戸特派大使事業、八戸大使ふるさとセミナーを継続実施。より多くの学校に実施していただくため、セミナーの様子を市のホームページに掲載し、SNS(ツイッター、フェイスブック)に配信することで、学校関係者が市へ要望しやすいようにする。	広報統計課
25	南郷ジャズフェスティバル開催事業	H2	他地域との交流促進並びに南郷地域の文化の向上及び活性化を図ることを目的にジャズフェスティバルを開催する	住民主体により国内外の一流奏者が出演するジャズフェスティバルを開催	12,000	12,000	第27回南郷サマージャズフェスティバル2016開催(7/30)、前夜祭(7/29) 実行委員会(4回)、幹事会(2回)、物販部会(1回)、出店者会議(1回)、ボランティア会議(1回)、交通防犯消防関係者会議(1回)、出演者企画業務選定委員会(1回)	第28回南郷サマージャズフェスティバル2017開催(7/29)、前夜祭(7/28) 実行委員会(4回)、幹事会(2回)、物販部会(1回)、出店者会議(1回)、ボランティア会議(1回)、交通防犯消防関係者会議(1回)、出演者企画業務選定委員会(1回)	引き続き、全国各地からの来場者により、他地域との交流促進並びに文化向上及び地域活性化の目的を果たすべくイベントを開催していく。	南郷事務所
26	八戸三社大祭開催支援事業	-	八戸三社大祭の開催・運行等に関する活動を支援するため、経費の一部を助成するもの	・八戸観光コンベンション協会が実施する八戸三社大祭パンフレット作成、八戸三社大祭の開催・運行に係る活動経費を助成	37,617	39,630	○八戸三社大祭パンフレット作成支援 日本語版:30,000部、外国語版4言語(英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語):12,000部(各言語3,000部) ○八戸三社大祭支援	○八戸三社大祭パンフレット作成支援 ・日本語版20,000部作成見込み(ページ増加予定) ○八戸三社大祭支援	引き続き、当該支援を実施し、八戸三社大祭のPRと円滑な開催の支援に努めている。	観光課
27	郷土芸能派遣事業	-	観光関連団体と連携し、各種物産展やイベント等において、八戸地域の郷土芸能の派遣を行い、行事の紹介・観光PRを図る。	八戸観光コンベンション協会に対して、観光関連団体と連携して各種物産展やイベント等において八戸地域の郷土芸能の派遣を行う際の経費を助成	4,552	3,594	市外で行われる物産展等において、八戸えんぶりを披露し、地域の誇る郷土芸能の紹介とPRを図った。 ・派遣回数:6回(高崎市、盛岡市、川崎市、東京都、宇都宮市、つがる市)	市外で行われる物産展等において、八戸えんぶりを披露し、地域の誇る郷土芸能の紹介とPRを図る	引き続き、当該支援を実施し、郷土芸能の効果的なPR等による当地域への誘客に努めていく。	観光課
28	正調八戸小唄保存事業	-	正調八戸小唄講習会等を行ない、正調八戸小唄の保存育成、後継者の育成を図る	・八戸観光コンベンション協会が実施する正調八戸小唄講習会等実施に要する経費の支援を行ない、正調八戸小唄の保存育成、後継者の育成を図る	263	450	○正調八戸小唄保存事業講習会等実施に係る経費の支援 [開催実績] ・講習会:9回(9月～11月に各3回開催) ・発表会:1回(10月) ・後継者育成講習会:1回(5月)	○正調八戸小唄保存事業講習会等実施に係る経費の支援 [開催見込み] ・講習会:9回(9月～11月に各3回開催) ・発表会:1回(10月) ・後継者育成講習会:	引き続き、当該支援を実施し、正調八戸小唄の保存育成、後継者育成の支援に努めていく。	観光課
29	八戸えんぶり開催支援	-	八戸えんぶりの円滑な開催を図るため、開催に対する活動経費を支援	八戸えんぶりの開催に対する活動経費の一部を助成(八戸観光コンベンション協会への補助)	8,931	9,170	○八戸えんぶりパンフレット作成支援 日本語版:30,000部 ○八戸えんぶり支援	○八戸えんぶりパンフレット作成支援 ・日本語版20,000部 ○八戸えんぶり支援	引き続き、当該支援を実施し、八戸えんぶりのPRと円滑な開催の支援に努めていく。	観光課

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
30	三社大祭・えんぶり大型バナー掲出	H18	新幹線等を利用して八戸を訪れるお客様に対し、八戸三社大祭及び八戸えんぶりのPRを行い、また、新幹線等を利用して八戸三社大祭及び八戸えんぶりに訪れたお客様に対し、駅に降りた時から祭の雰囲気を感じてもらおう。	八戸三社大祭及び八戸えんぶりのそれぞれの祭りの開催1ヶ月前から、大型バナー及びフラッグを八戸駅東西自由通路に掲出することにより、祭りの機運を醸成し、八戸駅利用者に祭りの雰囲気を感じてもらう。	242	243	八戸三社大祭大型バナー及びフラッグ掲出期間:平成28年7月5日～平成28年8月4日 八戸えんぶり大型バナー及びフラッグ掲出期間:平成29年1月21日～平成29年2月20日	八戸三社大祭大型バナー及びフラッグ掲出期間:平成29年7月1日～平成29年8月4日 八戸えんぶり大型バナー及びフラッグ掲出期間:平成30年1月19日～平成30年2月21日	随時、掲出期間等を検討しながら、継続実施	観光課
31	三社大祭ポスター作成	-	八戸三社大祭を県内外にPRし、当市への旅行喚起を図るため。	B1版・B2版の三社大祭ポスターを作成し、JR東日本・JR北海道の駅構内や道の駅等県内外の公共施設や宿泊施設等に掲出する。	1,793	2,000	作成枚数:4,400枚(B1:3,200枚 B2:1,200枚) 主な掲出先:JR東日本首都圏7支社・盛岡支社、JR北海道函館支社の駅構内、東北道の駅、ネクスコ東北管内道路管理事務所、市内公共施設・宿泊施設 等	作成枚数:4,400枚(B1:3,200枚 B2:1,200枚) 主な掲出先:JR東日本首都圏7支社・盛岡支社・仙台支社・秋田支社、JR北海道函館支社の駅構内、首都圏のサービスエリア・パーキングエリア、東北道の駅、ネクスコ東北管内道路管理事務所、市内公共施設・宿泊施設 等	ポスターの提供依頼が増えたため、作成枚数を5,000枚に増やし、より一層のPRに努める。	観光課
32	えんぶりポスター作成	-	八戸えんぶりをPRして、当市への誘客につなげるため	八戸えんぶりのポスターを作成し、県内外の公共施設・観光施設に掲出する。	1,242	1,230	B1版1300枚、B2版800枚、計2,100枚を作成。公共施設、宿泊施設、大型商業施設、公衆浴場、東北六県道の道の駅、他市内各所に発送。残部は観光課に納品。	平成28年度と同様に実施した。	平成29年度と同様に継続実施	観光課
33	ご当地グルメ普及活動支援事業補助金	-	全国的に注目を集めているご当地グルメの普及を図ることにより、当市物産振興、認知度向上及び地域経済の活性化に寄与すること	八戸せんべい汁研究所が実施している、八戸せんべい汁の普及・当市の観光PRのための活動への支援	1,000	1,000	1.「B-1グランプリスペシャルin東京臨海副都心」への出展 2.各地支部大会への出展 3.「八戸せんべい汁アカデミー」開催による地元飲食店の啓蒙・育成・レベルアップ(H28年度マイスター認定者数 43名) 4.まちおこし活動出前授業(H28年度実績 5校実施)	1.「2017 SENDAI 光のページェント」への出展 2.「2017 東北復興大祭典なかの」への出展 3.「八戸せんべい汁」Tシャツデザインの公募 4.「八戸せんべい汁ガイドマップ2018年版」の制作・配布	平成29年度と同様に継続実施。	観光課
34	各種イベントでの郷土芸能等PR	-	八戸の郷土芸能を県外で披露することによって、当市への誘客促進を図る。	県内外のイベントにおいて八戸の郷土芸能を披露する。	12,276	6,172	・函館・東北チャリティープロモーション2016(7/2・3):虎舞 ・はこだてグルメサークラス2016(9/10・11):八戸えんぶり、八戸三社大祭山車 ・あもり10市大祭典in五所川原(9/24・25):八戸三社大祭山車 ・ふるさと祭り東京2017(1/7～5):法霊神楽、南部民謡	・はこだてグルメサークラス2017(9/2・3):八戸えんぶり ・あもり10市大祭典in十和田(9/23・24):八戸三社大祭山車 ・ふるさと祭り東京2018(1/12～21):法霊神楽、南部民謡 ・さつぽろ雪まつり(2/10・11):八戸えんぶり	平成30年度のふるさと祭りでは、法霊神楽・南部民謡に加えて三社大祭の山車を出展する予定であるため、ユネスコ無形文化遺産に登録された三社大祭のさらなるPRを図る。	観光課
35	大型客船誘客誘致事業	-	大型客船入港歓迎及びおもてなしを図るため、入港歓迎イベントに要する経費等を支援する	大型客船入港歓迎イベント開催に要する活動経費を助成。イベントにて郷土芸能の披露等を行い、おもてなしの充実を図る。	3,471	3,039	大型客船の八戸港入港に際し、入港歓迎イベントを実施し、入港歓迎及びおもてなしの充実を図った。 [入港実績] ・5月6日 につぼん丸 ・8月4日 飛鳥II ・10月31日 飛鳥II	大型客船の八戸港入港に際し、入港歓迎イベントを実施し、入港歓迎及びおもてなしの充実を図った。 [入港実績] ・5月21日:ばしふいっくびいなす ・5月26日:飛鳥II	引き続き、当該支援を実施し、更なる大型客船誘致に努めていく。	観光課

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
36	みちのく五大雪まつり推進協議会負担金	S55	冬季における青森、秋田、岩手、三県の観光宣伝活動の共同化を図り、もって北東北三県観光事業を推進する。	北東北三県における冬季観光客の誘客を図るため、みちのく五大雪まつりのポスター作成、観光PR等を行う。 ※みちのく五大雪まつり・・・八戸えんぶり(青森県八戸市)、弘前城雪燈籠まつり(青森県弘前市)、いわて雪まつり(岩手県雫石町)、なまはげ柴灯まつり(秋田県男鹿市)、横手かまくら(秋田県横手市)、の北東北を代表する五つのまつり。	600	600	・五連ポスター作成・配布 ※B1判250枚(集合版)、4,300枚(860枚×5種類)、B2判1,000枚(200枚×5種類) ・リーフレットの作成・配布 ※A4判三ツ折 46,000部(両面4色刷り) ・ノベルティグッズの作成・配布 ※ホッカイロ:10,000個(集合版ポスターデザインのシール貼付のもの) ・ホームページの活用(各雪まつりの紹介、リンク、英語表記等) ・フェイスブックページの活用(「みちのく五大雪まつり」ページの共同運営) ・「みちのく五大雪まつり大集合」の実施(いわて雪まつり会場でのかまくら・雪燈籠の設置及び八戸えんぶり・なまはげの披露) ・観光イベントでのPR活動実施(各市それぞれが出席するイベントでPRを実施)	・五連ポスター作成・配布 ※B1判250枚(集合版)、4,300枚(860枚×5種類)、B2判1,000枚(200枚×5種類) ・リーフレットの作成・配布 ※A4判三ツ折 46,000部(両面4色刷り) ・ノベルティグッズの作成・配布 ※ホッカイロ:10,000個(集合版ポスターデザインのシール貼付のもの) ・ホームページの活用(各雪まつりの紹介、リンク、英語表記等) ・フェイスブックページの活用(「みちのく五大雪まつり」ページの共同運営)	引き続き事業を実施し、冬季の北東北三県における観光客の誘客促進に努める。	観光課
37	美術館各種展覧会・体験講座等開催事業	S61	美術講演会や創作講座を開催し、市民への教育普及活動の充実を図る。	平成29年度から新美術館整備による閉館のため展覧会事業は行わず、教育普及事業として学習活動に資するため、各種講演会や講座を開催し、学習機会を提供する。	24,797	2,514	特別展 3回 常設展 2回 企画展 2回 創作講座 8回	創作講座 6回	引き続き、創作活動事業を継続しながら、新たな学校連携事業として、学外の存在である当室が、積極的にプログラムを提案し、学校と協力しながら実施することで、学校単独では難しかったプログラムを実現させ、新美術館建設推進室と中学校との連携事業の継続化を図りながら、エデュケーションや学びがテーマの新美術館建設にむけた学校連携の地盤を作る。	新美術館建設推進室
38	写真のまち八戸事業	H27	写真を用いて誰もが郷土の魅力を表現し、発信できる「写真のまち八戸」を構築し、写真芸術が広く根付く文化の薫り高いまちを目指す。	・世界的評価を受ける写真家と直接的に触れ合い、多様な写真の見方を学ぶ機会の創出 ・公募写真イベントを主軸とした、市民が主体となるアート・イベントの開催 ・プロの作家を招聘し、市民を対象としたワークショップや八戸での作品制作を行う。	8,080	2,642	特別展 1回 一般公募写真展 1回 中学生写真展 1回 ワークショップ 1回	一般公募写真展 1回 中学生写真展 1回 ワークショップ 2回	意見交換会開催により事業内容の検討を行いながら実施内容の充実を図り、継続実施。	新美術館建設推進室
39	ライブラリー事業	H23	図書館や美術館、市内書店での取扱いが少ないアートや文化、ものづくり、当市にゆかりのある方の書籍等を館内ライブラリーへ配架し、当市が進めている「本のまち八戸」構想に基づき、ブックセンターと連携した事業を実施することで中心街の賑わい創出に資する。	・ライブラリー展示 ・4階ライブラリーでの月例特集の実施。 ・一箱古本市でのトークイベント、ワークショップなど本にまつわるイベントを開催。	255	623	・書籍購入(随時) ・毎月の特集開催 ・「はっちの一箱古本市」「写真集鑑賞ワークショップ」等のイベント開催	・書籍購入(随時) ・毎月の特集開催 ・「はっちの一箱古本市」「和綴製本ワークショップ」等のイベント開催	・月例特集のテーマ選定にミュージアムアライアンスの視点をもち、美術館、博物館、縄文館など市内公立文化施設の企画展示等との連動を意識し、他施設への回遊をいざなう。 ・一箱古本市など、はっちからだけではない市民参加型の相互発信的な事業を引き続き行い、本に関する市民活動の醸成を図り、一般市民への本への興味を高める。 ・31年度からブックセンターが主体となり「ブックフェス(仮称)」を展開できるように、「はっちの一箱古本市」のノウハウを共有する。 ・ライブラリー事業の情報を高等教育機関の学生をはじめ、ターゲットを絞って情報発信する。	八戸ポータルミュージアム
40	シーズンイベント	H24	七夕やクリスマスなどの各季節に、街中イベント等と合わせ、イベントを開催することで季節感を演出し、中心街の賑わいを創出することを目的とする。	下記の各シーズンに、各種イベントや館内装飾を実施する。 ①ゴールデンウィーク ②七夕 ③クリスマス ④正月	1,429	1,749	①ゴールデンウィーク・・・マルシェ×Buyはちのへの開催、公募企画の実施 ②七夕・・・七夕ライブinはっち等の開催、公募企画の実施 ③クリスマス・・・八戸いちごマルシェ×菓子まつり等の開催、公募企画の実施 ④正月・・・正月イベントの開催(書道ガールズパフォーマンス、法霊神楽一斉歯打ち等) ⑤雛まつり・・・ひなまつりワークショップ等の開催	①ゴールデンウィーク・・・ゴールデンウィークライブ等の開催 ②七夕・・・七夕ライブinはっち、たなばた茶会等の開催 ③クリスマス・・・八戸いちごマルシェ×菓子まつり等の開催、優先賞館企画の実施 ④正月・・・正月イベントの開催(書道ガールズパフォーマンス、法霊神楽一斉歯打ち等)	引続き、下記の各シーズンに各種イベントや館内装飾などを行い継続実施。 ①ゴールデンウィーク ②七夕 ③クリスマス ④正月	八戸ポータルミュージアム
41	和日カフェ	H23	・ライフスタイルの多様化やグローバル化が進む中で、「日本文化」に気軽に触れて・体験できる空間を来館者へ提供することで、日本の良さや日本人で良かったと実感してもらう機会を創出する。 ・市民が和服などで着飾って中心街に出掛けるきっかけとなることで、中心市街地を改めて「ハレの場」とし賑わいの創出を狙うとともに郊外との差別化を図り、中心街ならではの魅力を発信する。	「和・日本文化」をテーマとし、広く市民を対象とした企画を実施する個人・団体を公募する。	317	431	28年度は7月と2月を除く各月に「身近にある日本文化を楽しむ」をテーマに、普段の生活の中にある日本文化に注目した企画を実施。(八戸市文化協会プロデュース企画、はっち杯百人一首大会など)	29年度は7月・11月・2月を除く各月に「和」や「日本の良さ」を伝える企画を公募により実施。(いけばな体験、つまみ細工体験ワークショップなど)	引続き、「和・日本文化」がテーマの広く市民を対象とした企画を実施する個人・団体を公募し継続実施。	八戸ポータルミュージアム

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
42	「まちぐ(る)み」事業(AIR事業)	H27	市民の「やってみたい」アイデアをサポートし、中心商店街にワクワク感とまち歩きが楽しくなる仕掛けを目に見える形で作ることで、市民力の結集や中心街の回遊性向上を図り、効果的に中心街に賑わいを創出するとともに、まちを動かす「ひと」を増やすことを目的とする。	・「まちぐみラボ」の運営により、気軽にまちづくりに参加できる場と機会を創出する。 ・中心街との連携企画により、町内の賑わいを創出し、市内の大学との連携も視野に入れ、町内会が定期的に実施するイベントを企画するような、能動的な機運の醸成を図る。	5,179	4,579	アーティストの山本耕一郎組長がプロデュースし、十八日町にある店舗やまちぐみラボのリノベーション、はちのへホコテン！への出店や十八日町で実施した「十八日の市」開催など、思いがけないアイデアで八戸のまちを少しずつ楽しくするプロジェクトを実施。	十八日町まちぐみラボにおいて、風力発電ワークショップや南部地方の伝統に気軽に触れることができる南部菱刺しワークショップなどを実施。十八日町のラボ閉鎖後、29年9月より本八戸通りに新たなまちぐみラボを開設し、同地区のまちづくりに向けた活動を実施している。	引続き「まちぐみラボ」の運営により、気軽にまちづくりに参加できる場と機会を創出しつつ、まちぐみラボが位置する本八戸駅通り振興会関係者との連携事業を企画・実施していく。	八戸ポータルミュージアム
43	DASHIJIN プロジェクト(AIR)	H28	「八戸三社大祭を自分ごととして認識し、これまで携わってきた人たちをリスペクトして、その価値とともに発信してもらうこと」を目指す。	2020年の東京オリンピックに向けて、2016年にユネスコ無形文化遺産にも登録された「八戸三社大祭」の「山車の造形力」という地域資源に光を当てるアートプロジェクトを行い、八戸の固有文化と取り組みを国内外にアピールする。	4,538	12,000	・市民記者「はちのヘスケーターズ」(44名)が、八戸に暮らす市井の人々取材し、88の物語を編み上げるプロジェクトを実施。 ・アーティストと共に27組全ての山車組を回り、プロジェクトの趣旨を説明し理解いただくとともに、協力態勢を整えていただいた。	・88ストーリーズの展示 ・子ども対象プログラム「マツリポータープロジェクト」を実施し、市内の小学1年～6年生までの18名の児童が山車組への取材、撮影、編集を行い10分程度の映像番組を制作。 ・山車づくり応援企画実験室を実施。(山車組から借用した造形物の展示、山車小屋見学ツアー、制作体験ツアーなど) ・映像記録プロジェクトの実施。(各プログラムの記録撮影、山車組への密着取材、八戸三社大祭期間中の様々な場面の撮影など)	30年度には、祭り教育を学校の授業へ組み入れるための教育普及プログラムや市民・山車組・アーティストの3者が協力して造形物制作へ取り組む市民発信型プログラムを実施予定。31年度は作品全体の制作を開始し、完成予想図の告知等に取り組み、32年度に作品の設置等を進めていく予定。	八戸ポータルミュージアム
44	横丁活性化事業	H22	横丁・観光関係団体が連携し、期間を集中してイベントを一体的に実施することで、八戸の観光資源である「横丁」の魅力を外内に情報発信するとともに、市民の横丁文化への誇りと愛着を育て、次の世代に引き継げる八戸ならではの魅力、文化として定着させることを目的とする。	「八戸横丁月間 酔っ払いに愛を」を10月に設定し、関係団体と連携して「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユースター～」等各イベントを開催する。	1,400	1,400	10月を「八戸横丁月間～酔っ払いに愛を～」とし、横丁関係団体が連携し、横丁関連イベントを集中的に開催した。 (第5回日本全国地酒で乾杯！、酔っ払いに愛を2016～横丁オンリーユースター～、さかな町・夜の歩行者天国、八戸横丁連合飲みだおれラーなど)	10月を「酔っ払いに愛を～八戸横丁月間～」とし、横丁関係団体が連携し、横丁関連イベントを集中的に開催した。 (第6回日本全国地酒で乾杯！、酔っ払いに愛を2017～横丁オンリーユースター～、八戸横丁連合飲みだおれラー、八戸屋台村みろく横丁ハロウィンなど)	引続き、横丁関係団体と連携し期間を集中してイベントを一体的に実施することで継続実施。なお、30年度が10回目の開催となることから、例年以上の事業内容とすることで、実行委員とともに検討していく。	八戸ポータルミュージアム
45	八戸レビュー販売	H24	はっちオープン以降、多くの反響を呼んだ写真集「八戸レビュー」の記録として出版した写真集を継続的に販売し、シティプロモーションと八戸ポータルミュージアムのPRを図る。	「写真のまち八戸」構想とも連携しながら、館内ミュージアムショップでの販売を行う。	1	6	販売冊数2冊	販売冊数0冊	「八戸レビュー」は、はっち開館時の目玉となるイベントの記録でもあり、グッドデザイン賞を受賞するなど話題性もあるが、開館7年を経過し、情報が古く、販売数が年々減少していることから廃止することとする。在庫分については、はっちが主体的に販売を実施することで対応予定。	八戸ポータルミュージアム
46	お祭り連携事業	H23	ユネスコ無形文化遺産及び国の重要無形民俗文化財に指定されている「八戸三社大祭」、同文化財に指定されている「えんぶり」の期間中、市中で開催されるイベント等と合わせ、当館の立地と特性を活かした展示や体験等を通じて、市民や観光客に祭りの魅力を多角的にPRし、回遊性の向上に資することを目的とする。	・八戸三社大祭期間中の山車展示、小太鼓体験、パネル展等 ・八戸えんぶり期間中のえんぶり公演、衣装着つけ体験、パネル展等	659	919	「お祭りinはっち」・・・三社大祭の山車展示や加賀美流騎馬打毬観戦ツアーなどを実施。 「えんぶりinはっち」・・・えんぶり公演やえんぶり衣装着つけ体験などを実施。	「お祭りinはっち」・・・三社大祭の山車展示や加賀美流騎馬打毬観戦ツアーなどを実施。 「えんぶりinはっち」・・・えんぶり公演やえんぶり衣装着つけ体験などを実施。	引続き、「八戸三社大祭」と「えんぶり」の期間中、市中で開催されるイベント等と合わせ、当館の立地と特性を活かした展示等をしていくなかで、内容が定着化しているものについては実施の是非や見直しを図りながら進めていく。また、30年7月にオープン予定の八戸まちなか広場「マチニワ」での事業展開についても検討していく。	八戸ポータルミュージアム
47	市民活動支援事業	H25	市民に活動を発信する機会と場を設けることで主体的に活動する市民を増やし、加えて来館する市民や観光客に表現者として関わることの楽しさを伝えることで、幅広い世代の市民が創造性を持ち主体的に活動する環境を醸成することで、中心街全体の賑わい創出に繋げる。	ストリート投げ銭ライブ、八戸市民ロボコンやはちのへ演劇祭の開催により市民が中心となって制作・表現活動をする場を提供し、ライブや演劇を楽しむ機会を提供する。	504	1,200	八戸市民ロボコン、ストリート投げ銭ライブ、はちのへ演劇祭などを実施。	ストリート投げ銭ライブを毎月開催、さらにロボフェスタはちのへ、はちのへ演劇祭などを開催	引続き、市民がより参加しやすい仕組み作りと、市民が主体となって企画を実施するためのノウハウの提供方法を模索しながら継続実施していく。なお、市民ロボコンについては、実施主体である実行委員のメンバー減少により30年度は事業を休止する予定。	八戸ポータルミュージアム

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
48	はっち文化創造アドバイザー	H27	はっちの文化芸術活動振興事業について、アートのみならず、アートに関する知見とノウハウ、アーティストとの豊富なネットワークを有する外部アドバイザーを招聘し、助言をいただきながらアートを切り口に分野横断的に展開することで、まちづくりに関わる「ひと」を集め、中心街の活性化ひいては市全体の活性化に結びつける。	主にはっちの文化芸術活動振興事業の企画・推進にあたり、専門的な知見や豊富なアーティストとのネットワークを有するアドバイザーを招聘し、事務局に対する適切かつ具体的な助言を行う。アドバイザーからの助言を元に、事業の企画立案や運営をするとともに、事後検証や事業展開を進めていく。	750	768	自主事業全般にわたる課題に関する具体的助言、AIR公募事業の公募アーティスト選定、アドバイザーボード会議への出席 委託先:ダ・ハ プランニングワーク 代表取締役 吉川 由美氏	自主事業全般にわたる企画内容等に関する具体的助言、アーティストの紹介、アドバイザーボード会議への出席 委託先:ダ・ハ プランニングワーク 代表取締役 吉川 由美氏	引続き、外部アドバイザーの助言をいただくなかで、「マチニワ」や「新美術館」等、中心街に新たに整備される各施設との横断的な連携を行うとともに、「はっち」独自の取り組みを見出し事業を推進していく。	八戸ポータルミュージアム
49	八戸市表彰条例に基づく表彰事務	S40	教育、学術、技芸、体育その他文化の振興に貢献し、功労顕著なものについて、功労者として表彰する	庁内関係課から推薦のあった教育、学術、技芸、体育その他文化の振興のために著しく貢献し、その指導的立場に25年以上あった者について審査の上、文化功労者として表彰し、表彰状等を授与する。	1,816	1,817	八戸市功労者・善行者表彰式 平成28年11月4日 受賞者:功労者24名(うち文化功労者3名)、善行者5人3団体	八戸市功労者・善行者表彰式 平成29年11月2日 受賞者:功労者30名(うち文化功労者2名)、善行者6名	庁内関係課に対し、「推薦にあたっては分掌する事務に係る団体等を十分調査するか、又は協議する」など、該当者の発掘に努めるよう依頼し、事業を継続する。	総務課
50	農業新ブランド育成事業(伝統野菜トークカフェ事業)	H27	伝統野菜の継承と食材としての魅力の発信	伝統野菜の継承と食材としての魅力の発信を目的にPRイベントを開催するもの。	2,251	2,839	伝統野菜トークカフェ 【開催日】平成28年9月25日 【参加者数】49名 【内容】全国の伝統野菜の紹介「加賀野菜」 加賀野菜をつかった料理レシピの紹介と試食 (金沢市農林局 農業振興課 農業センター 主査 本田 希世香氏) 八戸伝統野菜 食用菊をつかったスイーツづくり体験 (フードコミュニケーション協会 代表理事 なぎさなおこ氏)	糠塚きゅうりと八戸夏野菜をつかった子ども料理教室 【開催日】平成29年7月29日 【参加者数】11名 【内容】糠塚きゅうりと八戸夏野菜で、夏休みはおうちごはんをつくらう!(食育料理家 なぎさなおこ氏) 糠塚きゅうりde晩餐会 【開催日】平成29年7月30日 【参加者数】10名 【内容】糠塚きゅうりをつかったコース料理を楽しむ食事会(ナンゴーニュ オーナーシェフ 長瀬光司氏)	伝統野菜の魅力を発信するイベントを継続的に開催予定。	農業経営振興センター
51	ご当地イカ料理コンテスト	H26	日本一のイカの産地としての知名度向上及び地域資源であるイカの消費拡大等を目的としてイカ料理コンテストを開催する	創作料理の開発を通じて地域資源であるイカの魅力を改めて理解していただくとともに、八戸ならではのイカ料理を発掘しPRすることで、水揚げ量日本一を誇るイカの生産振興および消費拡大のほか、日本一のイカの産地としての知名度向上を図ることを目的として、「ご当地イカ料理コンテスト」を開催する。	508	556	第3回ご当地イカ料理コンテスト(平成28年8月10日開催) 応募作品数 62作品 最優秀賞 1作品 優秀賞 1作品 優良賞 2作品	第4回ご当地イカ料理コンテスト(平成29年8月10日開催) 応募作品数 79作品 最優秀賞 1作品 優秀賞 1作品 優良賞 2作品	引続き、日本一のイカの産地としての知名度向上及び地域資源であるイカの消費拡大等を図るため、継続実施。	水産事務所
52	市立集会場管理運営事業	H18	市民の集会等の用に供するため。	八戸市集会場条例、同規則に基づき「更上閣」の運営管理を行うもの。	6,555	6,717	市から指定管理者への総合評価として、 ・適正な施設管理が実施されていた。 ・利用者への対応が適切に行われ、適正な管理・運営がなされていた。 ・自主事業の開催により、利用者の増加に努めており、評価できる。	市から指定管理者への総合評価として、 ・適正な施設管理が実施されていた。 ・利用者への対応が適切に行われ、適正な管理・運営がなされていた。 ・自主事業の開催により、利用者の増加に努めており、評価できる。	・適正な施設管理の実施に努める。 ・利用者への対応を適切に行い、適正な管理・運営の実施に努める。 ・自主事業の開催により、利用者の増加に努める。	福祉政策課
53	福祉公民館管理運営事業	S53	市民福祉の向上を目的として設置された福祉公民館の管理・運営を行う。	市民福祉の向上を目的とし、施設を適切に管理・運営する。	35,648	-	指定管理により当施設の管理・運営を行った。	指定管理により当施設の管理・運営を行ったほか、福祉避難所としての機能を強化するとともに、施設利用者の利便性を高めることを目的とし、ボイラー配管及びパネルの改修を行った。	引き続き、指定管理者と連携して施設の適切な管理・運営に努め、修繕を要する箇所がないかを調査していく。	福祉政策課

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
54	子育てつどいの広場事業		就学前の乳幼児とその親(以下「子育て親子」という。)が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で、様々な遊びや体験を通じて相互に交流を図る場を提供し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行うことにより、子育てへの孤立感や負担感の緩和を図り、安心して子育てをできる環境を整備し、地域子育て支援機能の充実を図ることを目的とする。	(1)子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 (2)子育て等に関する相談、援助の実施 (3)地域子育て関連情報の提供 (4)子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 (5)豊かな遊びの空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座等の実施 (6)地域の子育て力を高める取組の実施	15,037	16,170	イベント回数:160回 イベント参加者数:延べ20,336人 施設利用者数:延べ54,889人	イベント回数:168回 イベント参加者数:延べ27,450人 施設利用者数:54,889人	引き続き、各種イベントの企画・実施により文化芸術に触れる機会の提供を図っていく。	こども未来課
55	"読み聞かせ"キッズブック事業(関連イベント よみきかせ講習会)	H28	幼児教育の始めとなる3歳児に対し、本に親しむきっかけとなる支援を行う。	保護者が絵本の読み聞かせをすることで、親子のふれあいと本に親しむことを目的に、3歳児に対しブッククーポンを配付する。	3,531	5,118	①よみきかせキッズ・ブッククーポンの配付 配付人数 1,777人 クーポン利用実績77.3%(回収 5,496枚/総発行7,108枚) ②パパとママのためのお楽しみ読み聞かせ講習会 開催日時:平成28年9月24日(土)11:00~12:00 参加者12名(男性3名 女性9名) ③「よみきかせたい絵本50選」展 開催日時:平成28年9月24日(土)10:00~16:00	①よみきかせキッズ・ブッククーポンの配付 配付人数 1,791人 クーポン利用実績82.7%(回収 5,926枚/総発行7,164枚) ②読み聞かせ絵本展~こどもに本の楽しさを~ ・子どもに読み聞かせたい国内外のおすすめ絵本88冊+αを展示 開催日時:平成29年9月23日(土)、24日(日)10:00~16:00 ・日本語&英語で 絵本おたのしみよみきかせ会 開催日時:平成28年9月23日(土)①11:00~ ②13:30~	当事業は平成28年度から3か年の試行事業として30年度まで実施することとしているため、この期間において、利用者(保護者)アンケート等により、事業の成果・効果を評価したうえで、事業継続の可否を検討することとする。	子育て支援課
56	童話会補助金	S35	青少年団体(八戸童話会)へ補助金を交付する。	八戸童話会が行う児童文化の実演を通して、子どもの健全育成を図るため、事業費の一部(補助対象経費の1/2又は50,000円のいずれか低い額)を補助する。	50	50	八戸童話会が行うおとぎ会開催に関する事業費として報告のあった対象事業費のうち一部を支給。 補助対象経費 111,280円 (111,280円×1/2=55,640円) 確定額 50,000円(<55,640円)	八戸童話会が行うおとぎ会開催に関する事業費として報告のあった対象事業費のうち一部を支給。 補助対象経費見込 122,000円 (122,000円×1/2=61,000円) 確定見込額 50,000円(<61,000円)	引き続き、補助金を通して当該青少年団体の活動を助成する。	子育て支援課
57	鷗盟大学運営事業	S51	高齢者の学習活動を推進し、老後の生きがいの増進を図るため。	・満60歳以上の者を対象とし、高齢者の生きがいづくりのため、鷗盟大学を設置。(旧八戸市老人福祉大学から平成8年4月1日に名称変更) ・一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目の学習を実施。(定員:生活福祉科70名・園芸科35名、修業年限:2年) ・学習目標:高齢者の学習活動のセンター的機能を発揮するために次に掲げる事項の達成を目指す。 (1)高齢者のための総合的教育的推進 (2)地域における高齢者活動を実践する指導者の養成 (3)社会活動の体験	7,884	8,190	・入学生:55名、卒業生:59名 ・一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目の学習を実施 ・クラブ活動やボランティア活動を実施(継続) ・運動会、総合美術展、芸能発表会を実施	・入学生:66名、卒業生:52名 ・一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目の学習を実施 ・クラブ活動やボランティア活動を実施(継続) ・運動会、総合美術展、芸能発表会を実施	29年度の事業内容を継続しつつ、学生確保に向けた具体的な検討を行う。	高齢福祉課
58	社会奉仕活動等促進事業	S55	高齢者の社会奉仕活動等を促進し、高齢者の奉仕精神の高揚、社会活動への参加、生きがいづくりを図る。	社会奉仕活動等促進事業は高齢者の福祉活動、文化活動等であって、地域福祉の向上、発展に寄与する次に掲げるものとする。 1 友愛活動を行い社会参加の促進を図る事業 2 「まちをきれいにする」意識の高揚を図るため、公共施設等の積極的な清掃奉仕活動事業 3 老人クラブ会員の加入促進及び社会活動に参加する機会を積極的に進める事業 4 生産、趣味活動を活発化するため、作品展示会及び鑑賞用菊作り事業を実施し、もって社会の一員として理解を高める事業	1,750	1,731	○芸能発表大会の開催(八戸市公会堂で2回開催) ○高齢者作品展(八戸市健康まつり寿作品展)への出品 ○菊づくり(菊まつりに出品) ○その他、コーラス活動や手芸教室の開催	○芸能発表大会の開催(八戸市公会堂で2回開催) ○高齢者作品展(八戸市健康まつり寿作品展)への出品 ○菊づくり(菊まつりに出品) ○その他、コーラス活動や手芸教室の開催	29年度の事業内容を継続しつつ、会員確保に向け、検討を行う。	高齢福祉課
59	愛の輪レクリエーション事業補助金	H18	八戸市手をつなぐ育成会が行う愛の輪レクリエーション事業に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。	在宅、施設を問わず、知的障がい児(者)とその家族、ボランティアが一堂に集い、音楽を通してお互いの親睦を深め、また、自らの活動意欲を育成するとともに、地域の人々の理解と協力を得て、社会に融和することを目的に開催される「愛の輪レクリエーション」に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。	150	150	補助金交付先:八戸市手をつなぐ育成会 補助金額:150千円 (イベント内容) [開催日]平成29年1月25日(水) [会場]八戸市公会堂 [参加者数]:847名(10団体※1団体インフルエンザ集団罹患のため欠席)	補助金交付先:八戸市手をつなぐ育成会 補助金額:150千円 (イベント内容) [開催日]平成30年1月23日(火) [会場]八戸市公会堂 [参加者数]約800名(※実績報告作成中)	補助金額の見直しをしたうえで、引き続き事業補助金を交付する。	障がい福祉課

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
60	NHKハート展	H24	八戸市民に障がいのある方々への関心と理解を深めるとともに、障がいのある方々が文化活動に広く参加することを促進するため、NHKハート展を開催する。	全国の障がいのある方から応募された詩の入選作50点に、ボランティアで参加いただいた各界の著名人やアーティストの方々が、ハートをモチーフに作成した絵画等を組み合わせたアート作品の展覧会。 NHK福祉キャンペーン「NHKハートプロジェクト」の一環として実施されている「NHKハート展」の八戸展として開催。	2,213	2,219	[開催期間]平成29年1月13日(金)～19日(木)6日間(17日ははっち休館日) [会場]八戸ポータルミュージアム はっち 1階 はっちひろば、ギャラリー1 [入場者数]はっち来館者14,761人(うち、見学者数5,019人)	[開催期間]平成30年1月12日(金)～18日(木)7日間 [会場]八戸ポータルミュージアム はっち 1階 はっちひろば、ギャラリー1 [入場者数]はっち来館者14,992人(うち、見学者数5,097人)	企画内容の再検討や広報計画の見直しをし、意識啓発事業として引き続き実施する。	障がい福祉課
61	市制施行88周年記念 陸・海・空自衛隊音楽隊合同コンサート	H29	1月1日には中核市へ移行、3月22日には「八戸圏域連携中枢都市圏」が形成された節目の年であり、八戸市とも関わりが深い「8」が並び市政施行88周年を迎えた5月1日を市民の皆様とともに祝い、今後の市勢の発展を願う	市制施行 88 周年を記念して、市制施行日である5月1日に陸・海・空合同の自衛隊音楽隊によるコンサートを開催し、多くの方々に音楽に親んでいただいた。また、市庁前広場において、オープニングセレモニーを開催し陸上自衛隊八戸陣太鼓の演奏、航空自衛隊ブルーインパルスの展示飛行、陸・海・空自衛隊災害支援関係装備品の展示などを行った。	-	3,231	無し	市制施行 88 周年を記念して、市制施行日である5月1日に陸・海・空合同の自衛隊音楽隊によるコンサートを開催し、多くの方々に音楽に親んでいただいた。また、市庁前広場において、オープニングセレモニーを開催し陸上自衛隊八戸陣太鼓の演奏、航空自衛隊ブルーインパルスの展示飛行、陸・海・空自衛隊災害支援関係装備品の展示などを行った。	無し ※88周年記念事業のため	市民課
62	児童生徒文化活動促進費補助金	S50	学校教育の一環として行われる文化活動で、市の予選を通過した団体及び県大会以上に出場する団体並びに中学校における文化活動の啓発・支援、充実・発展を図ることを目的とした活動を助成する。	○運営費補助 1. 八戸地区吹奏楽連盟 補助対象経費 会場使用料、著作権使用料 補助金の額 116,000円以内 2. 八戸市中学校文化連盟 精算根拠 市内中学校生徒数×生徒負担150円×1/3 補助金の額 補助対象経費の実績額又は300,000円のいずれか低い額 ○大会派遣費補助<補助上限額> 県大会 (人数 × 2,000円) 又は(100,000円)のいずれか低い額 東北大会 (人数 × 3,000円)全国大会 (人数 × 5,000円)国際大会 (人数 × 30,000円)	3,861	3,754	○運営費補助 八戸地区吹奏楽連盟…116,000円 八戸市中学校文化連盟…300,000円 ○大会派遣費補助 吹奏楽・合奏…29団体 833名 合唱…17団体 365名 バトン…13団体 199名 理科…6団体 31名	○運営費補助 八戸市中学校文化連盟…300,000円 ○大会派遣費補助 吹奏楽・合奏…27団体 804名 合唱…14団体 308名 バトン…12団体 214名 理科…8団体 45名	継続実施。	学校教育課
63	日本語教育支援事業	H21	NPO法人等と連携し、外国語を母国語とする児童生徒の日本語学習を支援	八戸市立小・中学校に在籍している、帰国児童生徒及び外国籍児童生徒に対して、本人及び保護者のニーズに応じて日本語教育支援講師を学校へ派遣し、日本語学習の初期指導及び教科学習を支援することにより、学校生活への適応を図る。	694	720	支援を受けた人数 小学生7名 中学生3名	支援を受けた人数 小学生8名 中学生5名	引続き、日本語が不自由で外国語を母国語とする生徒児童が転入してきた際は、本人及び保護者のニーズに応じて日本語教育支援を実施していく。	学校教育課
64	郷土食・行事食を取り入れた学校給食の提供	S26	学校給食を通じて、地域の伝統的な食文化についての理解を深める。	学校給食の献立として、郷土食や行事食、地域の特産品を提供することで、児童生徒が地域の伝統的な食文化を学ぶ機会とする。提供時は、校内放送資料等による情報提供も併せて行っている。	1,003,551	1,016,748	・郷土料理の提供…せんべい汁、ひつまみ、けの汁、ひき昆布の煮付け、煮こもり、こびりっこ等 ・行事食の導入…子どもの日、七夕、十五夜、冬至、クリスマス、お正月、節分、ひなまつり等 ・特産品・地場産品使用…いか、さば、菊、長いも、にんにく、りんご、南部せんべい等	・郷土料理の提供…せんべい汁、ひつまみ、けの汁、ひき昆布の煮付け、煮こもり、こびりっこ等 ・行事食の導入…子どもの日、七夕、十五夜、冬至、クリスマス、お正月、節分、ひなまつり等 ・特産品・地場産品使用…いか、さば、菊、長いも、にんにく、りんご、南部せんべい等 ・給食用食器の新規導入分に、合掌土偶をモデルにしたキャラクター「いのるん」や縄文柄をモチーフにした絵柄を採用し、縄文文化への関心を育んだ。	引続き学校給食へ、郷土料理や行事食、地域の特産品等を取り入れ、伝統的な食文化についての理解を深めていく。	学校教育課
65	劇団四季「こころの劇場」	H20	児童を劇場に招待し、「生命の尊重」・「友情と助け合い」・「生き抜くことの使命」などについて、舞台から直接訴えかけ、道徳・情操教育に寄与するとともに、演劇に触れるきっかけを与え、明日への活力を生み出させる。	・八戸市内小学校6学年の全児童を対象に、劇団四季によるミュージカル作品を鑑劇する機会を提供する。	475	480	・開催日時…平成28年9月27日(火) ・作品名…「エルゴスの祈り」(平成28年度) ・参加校…42校(43校中) ※金浜小は対象学年の在籍がないため不参加 ・参加人数…午前:833名(児童791名、教員42名) 午後:1,306名(児童1,229名、教員77名) 計 :2,139名(児童2,020名、教員119名)	・開催日時…平成29年9月15日(金) ・作品名…「ガンバの大冒険」(平成29年度) ・参加校…41校(43校中) ※金浜小は対象学年の在籍がないため不参加 ※大久喜小は修学旅行中のため不参加 ・参加人数…午前:718名(児童676名、教員42名) 午後:1,260名(児童1,186名、教員74名) 計 :1,978名(児童1,862名、教員116名)	引続き、劇団四季からの協力を得ながら、継続実施。	教育指導課

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
66	文集はちのへ編集委託事業	S29	八戸市の国語教育、特に作文教育の向上と充実を図る。	八戸市内小学校43校、中学校24校から、児童生徒の作品を募集し、編集委員による審査を経て、優れた作品を文集に掲載し発行する。	1,046	1,046	小学校編第63号出品数・・・191作品 中学校編第63号出品数・・・1606作品	小学校編第64号出品数・・・183作品 中学校編第64号出品数・・・1658作品	作文教育の更なる充実のために、事業継続。	教育指導課
67	学校図書館図書購入	不明	各小・中学校の児童・生徒数及び現在の蔵書率(図書標準達成率)により、予算を配分し、児童生徒の読書活動を推進する。	各小・中学校へ学校図書館用図書購入のための予算を配分し、図書の充足率の向上を図る。	22,346	23,543	平成28年度初めの市内各校の図書充足率平均は小学校で95.8%、中学校で79.2%である。	平成29年度末の市内各校の図書充足率平均見込は小学校で90.8%、中学校で77.7%である。	各校の実情を勘案しながら、事業継続。	教育指導課
68	マイブック推進事業	H26	小学生が、保護者とともに書店に出かけ、自ら本を選び購入する体験を通して読書に親しむ環境をつくる。	八戸市内の小学校に在籍する全児童(1～6学年)及び県立特別支援学校小学部に在籍する全児童に、1人当たり2,000円分のクーポン券とガイドブック、ブックリストを配布する。	22,379	23,543	【配布児童数】 11,448名 【使用した児童の割合】 96.1% 【クーポンの使用率】 95.1%	【配布児童数】 11,299名 【使用した児童の割合】 97.4% 【クーポンの使用率】 95.8%	「本のまち八戸」構想の実現に向け、事業継続。	教育指導課
69	青少年海外派遣交流事業	S60年	訪問国の歴史、文化、産業、教育等の視察や、青少年との親善交歓をとおして、国際協調の精神を育て、次代の国づくり、まちづくりを担う青少年の健全育成を図る。	昭和60年度の国際青年年の記念事業を契機として中学生を中国に派遣したことから事業が開始した。平成4年度に米国、平成9年度にニューカレドニアへの派遣を追加した。平成14年度からは、①中国班 ②米国・ニューカレドニア班に分けて、隔年で①と②に派遣している。また、中国蘭州市から不定期での青少年交流団を受入れを行っている。	6,777	13,541	○派遣 訪問国(都市名):中国(蘭州・西安・北京) 派遣人員:引率者5名、中学生24名 派遣期間:平成28年5月27日(金)～6月3日(金)	○派遣 訪問国(都市名):アメリカ(フェデラルウェイ・シアトル・ポートランド)、ニューカレドニア(ヌメア) 派遣人員:引率者各3名、中学生(アメリカ)12名、(ニューカレドニア)11名 派遣期間:平成29年5月25日(木)～6月3日(土) ○受入れ 中国蘭州市青少年友好交流団 受入れ人員:引率者6名、中学生12名 受入れ期間:平成29年5月31日(水)～6月4日(日)	○派遣 訪問国(都市名):中国(蘭州・西安・北京・上海) 派遣人員:引率者5名、中学生25名 派遣期間:平成30年5月24日(木)～6月1日(金) ○受入れ 受入れ時期・人員等未定	教育指導課
70	南部藩ゆかりの都市との交流事業	S62	南部藩ゆかりの都市との交流を通じ、歴史的遺産を正しく伝承し、「ふるさと」を愛する心を育み、もって少年の健全育成を図る。	市内の小学6年生からなる八戸市少年使節団を7月下旬、2泊3日の日程で岩手県遠野市及び紫波町へ派遣し、派遣先児童との体験交流活動を行うとともに、諸施設、文化遺産の見学を通じて歴史・文化等に触れる。また、8月3日、4日には、遠野市の少年使節団を受入れ、三社大祭の引き子体験、種差少年自然の家において八戸市児童との交流活動を行う。	1,528	1,697	派遣事業(7月26日から7月28日まで) 八戸市少年使節団41名を遠野市と紫波町へ派遣し、遠野市では、ふるさと村において遠野市児童との体験交流、馬の里・伝承園・カッパ淵・鍋倉公園・博物館などの見学のほか、紫波町では、そば打ち体験、平井家・八戸藩志和代官所跡などを見学・学習した。 受入事業(8月3日から8月4日まで) 遠野市使節団26名が来八し、博物館・根城城址・三社大祭・是川縄文館・種差海岸等を見学し、種差少年自然の家において八戸市少年使節団との体験交流を行う。	派遣事業(7月26日から7月28日まで) 八戸市少年使節団42名を遠野市と紫波町へ派遣し、遠野市では、ふるさと村において遠野市児童との体験交流、馬の里・伝承園・カッパ淵・鍋倉公園・博物館などの見学のほか、紫波町では、紫波町児童との交流体験、そば打ち、八戸藩志和代官所跡などを見学・学習した。 受入事業(8月3日から8月4日まで) 遠野市使節団26名が来八し、博物館・根城城址・三社大祭・是川縄文館・種差海岸等を見学し、種差少年自然の家において八戸市少年使節団との体験交流を行う。	「ふるさと」を愛する郷土愛を育むことにつながることから、これまでどおり継続して実施する。	教育指導課
71	地区公民館運営事業	不明	各地区公民館において各種講座を開催し、一般教養の向上、实际生活に必要な知識・技術の習得など、多様な生涯学習の機会を提供する。	・文化芸術に関する自主講座を実施(音楽、舞踊、歌唱、華道、書道、映画鑑賞、伝統芸能等) ・自主クラブ(茶道、華道、書道、囲碁、将棋、舞踊等)の育成・支援 ・芸能団体等への貸館 ・公民館まつりにて高齢者、障害者等の作品展示 ・八戸市ホームページ及び公民館だよりにて公民館利用案内等を掲載	303,888	306,124	・文化芸術に関する講座:上長公民館『盆踊り教室』講師:正調八戸小唄保存部会 他22館133講座実施 ・自主クラブ 小中野公民館 他22館 383団体が活動	・文化芸術に関する講座:瑞豊館『クリスマスコンサート』演奏者:八戸ウインドアンサンブル 他19館 122講座実施 ・自主クラブ 小中野公民館 他22館 382団体が活動	引続き、公民館講座を実施することにより、地域住民が文化芸術に触れる機会を提供する。また、公民館まつりにおいて、芸能発表・作品展示等、活動の場を提供することで、地域の文化芸術団体の育成・支援に繋げる。	社会教育課

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
72	文化財の保存・活用事業	H25	各種文化財等の適切な保存管理・積極的な公開活用。縄文遺跡群の世界遺産登録の推進。	史跡、天然記念物、民俗文化財、国・県・市指定文化の各種文化財の適切な保存・管理を実施し、恒久的な保護措置を講じるとともに、積極的な公開・活用を促進する。 また、是川遺跡、長七谷地貝塚を含む“北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群”の世界遺産登録に向けた周知活動を実施する。	756	2,500	○県天然記念物カヤの木説明板の既存物撤去・新規設置	○市天然記念物イチイ・モミ・クリ・アカマツの木標柱の既存物撤去・新規設置	山車人形修理やえんぶり詳細調査、文化財の説明板・標柱更新など、各種文化財等の適切な保存管理及び積極的な公開活用を図る。同時に縄文遺跡群の世界遺産登録の推進に資する各種周知活動を行う。	社会教育課
73	史跡等環境整備事業(長七谷地貝塚清掃・丹後平古墳群環境整備・根城跡土地取得事業を一括)	H28	国史跡丹後平古墳群、長七谷地貝塚、根城跡の適切な保護並びに積極的な公開活用	国史跡丹後平古墳群、長七谷地貝塚、根城跡の保存活用計画を策定し、計画に基づいた適切な管理を実施する。 また、史跡の積極的な公開・活用に向け、調査研究、環境整備計画の策定等を行う。	1,353	2,765	○史跡根城跡保存管理計画書(改定)の草案を作成。 ○史跡長七谷地貝塚・史跡丹後平古墳群の適切な管理を目的に草刈・清掃(各2回)を実施。 ○県史跡南郷市野沢一里塚の崩落に伴い、崩落防止のため、張芝作業を実施。	○史跡根城跡保存管理計画改訂版の作成。改訂版の内容について有識者の検討会議を7/12に開催。 ○史跡長七谷地貝塚・史跡丹後平古墳群の適切な管理を目的に草刈・清掃(各2回)を実施。 ○史跡丹後平古墳群指定地法面の一部崩落に対し、復旧。	史跡長七谷地貝塚・史跡丹後平古墳群の維持管理を継続しながら、両史跡の保存活用計画の策定。さらに次の段階として、これらの計画に基づいた整備基本計画の策定、整備の実施。	社会教育課
74	史跡等標示事業	S54	市民に文化財及び由緒ある地名等を周知する。	市内に所在する、文化財及び由緒ある地名等の場所に標柱または説明板を設置する。またその修繕を行う。	368	374	「下大工町」標柱設置 「札の辻」「常海町」「柏崎新丁」標柱修繕	「塩町」標柱設置 「八日町」「十三日町」「寺横町」「徒士町」標柱修繕	安全性及び美観上から緊急に修繕が必要な物件が多いことから、30年度以降3～4年で集中的に修繕を行い、新設は一時停止する。	社会教育課
75	指定文化財管理事業	S58	国・県・市の指定文化財(有形文化財)の適切な保存管理を目的とし、文化財所有者へ防災等設備の保守・管理を行う。	国・県・市の指定文化財(有形文化財)の適切な保存管理を目的とし、文化財所有者へ防災等設備の保守・管理点検に係る経費の一部補助を実施する。	19	19	○国重要文化財清水寺観音堂の防災設備保守点検費用等の一部補助	○国重要文化財清水寺観音堂の防災設備保守点検費用等の一部補助	国重要文化財清水寺観音堂の防災設備保守点検費用等の補助。	社会教育課
76	名勝種差海岸保護事業	不明	名勝種差海岸を適切に保存管理する	名勝種差海岸を適切に保存管理するため、パトロールによる監視、増殖が問題となる植物の駆除、周知看板の設置などを行い、美しい景観の保護に努める。	1,275	1,316	○保護指導員8名によるパトロールの実施 ・回数:延べ173回 ○名勝地保護のためのクロマツ伐採 ・場所:高岩(21本伐採、3本剪定) ○名勝地保護のためのボランティアによる外来植物駆除 ・H28.6.4～7.16 5回実施 ○周知のための看板設置 ・H29.3.24に小舟渡平に注意看板を設置	○保護指導員8名によるパトロールの実施 ・回数:延べ170回程度を予定 ○名勝地保護のためのクロマツ伐採 ・H30.3実施予定 ○名勝地保護のためのボランティアによる外来植物駆除 ・H29.6.7～9.14 6回実施 ○周知のための看板設置 ・H30.3設置予定	引き続き、パトロールによる監視、増殖が問題となる植物の駆除、周知看板の設置などを行い、美しい景観の保護に努める。	社会教育課
77	天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保護事業	S43(委託による監視業務を開始)	国指定天然記念物「蕪島ウミネコの繁殖地」の適切な保存管理	国指定の天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」を適切に保護管理するため、毎年ウミネコが飛来する時期に、地元「ウミネコ繁殖地蕪島を守る会」に保護監視等を委託するほか、草刈りと清掃作業による環境整備を行い、繁殖環境の保護に努めるもの。	4,056	4,257	○保護監視等業務委託 ・監視期間 H28.4.1～28.8.8 ・草刈期間 H28.4～29.2 ・清掃期間 H28.9～29.3 ○保護と活用についての意見交換会 ・期日 H29.3.17 ・参加者 ウミネコ繁殖地蕪島を守る会会長他9名	○保護監視等業務委託 ・監視期間 H29.4.1～29.8.8 ・草刈期間 H29.4～30.2 ・清掃期間 H29.9～30.3 ○保護と活用についての意見交換会 ・期日 H30.3.23(予定)	引き続き委託による保護監視業務及び草刈・清掃作業を継続し、ウミネコ監視所の更新方法を検討する。	社会教育課

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
78	無形民俗文化財後継者養成事業	S54	後継者養成を促進するための支援を行い、各地域に残る貴重な無形民俗文化財を後世へ継承する。	無形民俗文化財後継者養成事業の保存と伝承のための補助及び育成支援を行う。 後継者養成と用具の維持管理事業への補助金を交付する。 「山伏神楽U-30」を開催し、若手伝承者の交流と子ども達の継承意識の醸成を図る。	521	900	無形民俗文化財後継者養成補助金を7団体へ交付 八戸三社大祭山車祭り行事保存会補助金を1団体へ交付	無形民俗文化財後継者養成補助金を10団体へ交付 八戸三社大祭山車祭り行事保存会補助金を1団体へ交付 神楽上演会「山伏神楽U-30～若者がぎりぎりっど舞って候う～」開催	○補助金の交付を計測。 ○「山伏神楽U-30」を継続するとともに、えんぶり等、他の民俗芸能においても、若手の成果発表や交流機会の提供を行う。 ○三社大祭の後継者育成のきっかけとなるよう、中学生・高校生・大学生を対象に、ボランティア等で気軽に三社大祭に参加できる仕組みを検討。	社会教育課
79	民俗芸能のタベ開催事業	S53	市内で活動している民俗芸能団体の技術向上や伝承活動の活性化に寄与するとともに、市民の民俗芸能に対する理解と関心を喚起させることにより、民俗芸能の保存と伝承を図る。	市内の民俗芸能団体の技術向上や伝承活動の活性化を図るため、民俗芸能のタベを開催。	386	424	第39回民俗芸能のタベ 開催日:平成29年1月22日(日) 会場:八戸市公会堂文化ホール 出演団体:大平大神楽、田代えんぶり組、新井田虎舞組、中野神楽保存会 観客数:385名	第40回民俗芸能のタベ 開催日:平成30年2月3日(土) 会場:八戸市公会堂文化ホール 出演団体:長者山麓八戸虎舞保存会、高館駒踊保存会、八戸藩伝神道無念流居合保存会、八戸地方えんぶり連合協議会推薦えんぶり組 観客数:約300名	30年度から3年間、国・県指定民俗芸能団体を招待し、刺激を受けたり交流することで、市内団体の活性化を図る。	社会教育課
80	郷土芸能ビデオライブラリー事業	H19	民俗芸能をデジタル映像に記録保存し、後継者養成事業や市民が自由に閲覧できるビデオライブラリーとして活用し、民俗芸能に対する理解と関心を深める。	民俗芸能団体の撮影や、かつて撮影・録音されたアナログデータのデジタル化を行う。	50	50	○前年度変換データを保存団体へ配布 ○八戸市ホームページで映像貸出し周知 ○VHSからMpegへ変換16本 ○記録撮影団体 民俗芸能16団体及び三社大祭 計25回	○八戸市ホームページで映像貸出し周知 ○記録撮影団体 6団体及び三社大祭 計9回	日常業務として映像貸出し及び活動の撮影は継続するが、撮影・編集機材の整備や主な映像等のデータ変換が完了しつつあり、単独事業としては終了の見込み。 ほとんどの組が未撮影だったえんぶりについては、今後立ち上げるえんぶり民俗調査・映像記録作成事業で記録映像を製作する予定(データ変換も含む)。	社会教育課
81	先人周知事業	H18	市民が郷土の歴史や文化に対する理解を深め、郷土に対する誇りや愛着の心が育まれるよう、先人の功績に容易に触れられる機会を創出する。	広くふるさとの先人の功績を市民に伝えるため、先人に関する資料や情報を整理し、1人につきA1サイズ1枚にまとめたパネルを作成し、多くの市民が集まる場所(市民ホール、市内公共施設、ホテルロビー等)を巡回してのパネル展を開催する。	187	237	○ふるさと先人資料収集検討ワーキング会議 開催日:平成28年10月17日、平成29年3月15日 ○28年度製作パネル(5枚) 小出義雄、佐藤真弘、出町嘉明、寺下岩蔵、中村拓道 ○先人パネル展 平成28年4月19日～5月15日(27年度製作パネル) 八戸市公会堂エントランスホール ○ネット先人館更新	○ふるさと先人資料収集検討ワーキング会議 開催日:平成29年12月15日(金)、3月中旬 ○29年度製作パネル(5枚) 石橋宏一郎、小國英雄、佐々木泰南、村井倉松、山内亮 ○先人パネル展 平成29年4月18日～5月14日(28年度製作パネル) 八戸市公会堂エントランスホール ○ネット先人館更新	100名を目処にパネルを製作し、事業終了予定(今年度で87名分のパネルが完成予定)。 事業終了後もパネルの展示・貸出し、ホームページでの公開は継続する。	社会教育課
82	常設展示等	H23	国宝「合掌土偶」をはじめ是川遺跡・風張1遺跡出土の国重要文化財を中心に展示公開し、縄文文化の魅力を伝える。	常設展示、是川縄文館運営、情報発信等に係る事業。	19,779	20,474	開館日数 312日 観覧者数 本館 27,475名 分館 2,903名	開館日数 315日	継続実施。	是川縄文館
83	特別展・体験講座等開催事業	H23	特別展、企画展や様々な教育普及事業を通して埋蔵文化財の重要性、縄文文化の魅力を発信する。	春季企画展、特別展、秋季企画展、体験学習、各種講座、講演会を開催。共同研究を実施。	26,988	29,567	春季企画展「掘りdayはちのへ」、夏季特別展「山の縄文世界」、秋季企画展「馬淵川流域の縄文時代」、体験学習、各種講座、講演会を開催。東京大学大学院との共同研究を実施。	春季企画展「掘りdayはちのへ」、夏季特別展「発掘された日本列島展2017」、秋季企画展「是川縄文ムラを観る・描く」、体験学習、各種講座、講演会を開催。東京大学大学院との共同研究を実施。	継続実施。	是川縄文館

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
84	縄文の里整備事業	H23	史跡指定地公有化や遺跡の復元、整備、是川遺跡や縄文文化に関する情報発信。	縄文の里整備に係る事業。	40,401	76,736	史跡指定地の維持管理、公有化実施。整備検討委員会の立上げ。	史跡指定地の維持管理、公有化実施、第1期整備基本計画の策定。	維持管理、公有化の継続実施のほか、基本設計、実施設計、施工を順次進める。	是川縄文館
85	世界遺産登録推進	H23	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録推進。	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指す。	620	1,419	推薦書素案の調整、会議出席。	推薦書素案の調整、会議出席。	継続実施。	是川縄文館
86	埋蔵文化財の保存・活用事業	H23	重要文化財是川遺跡出土品保存修理、収蔵資料の再整理及び公開・活用を行う。	重要文化財是川遺跡出土品の保存修理、収蔵資料の再整理及び公開・活用を行う。	11,514	15,471	収蔵資料再整理、資料等の修復・デジタル化実施。	収蔵資料再整理、資料等の修復・デジタル化実施。	継続実施。	是川縄文館
87	図書資料等の購入	-	市民一人ひとりが、生涯にわたって、豊かで生きがいのある生活を送ることができるよう、「読むこと」「知ること」を支援するため、図書館資料の充実を図るとともに、さまざまな図書館サービスを展開し、利用促進に努める。	図書館資料を幅広く収集するとともに、良好な保存管理を行う。	29,239	28,130	図書資料購入:15,033冊 視聴覚資料購入:436点 企画展示 90回	28年度と同程度の資料購入予定。 企画展示 80回(見込み)	幅広い分野の図書資料を収集するとともに、企画展示や行事などを行い、図書館の利用促進に努める。	図書館
88	八戸市史講座	H25	市民に郷土の歴史に対する理解や関心を深めてもらう	市史編纂事業の成果を市民に紹介し、郷土の歴史に対する理解や関心を深めてもらう。	136	104	・三社大祭に関する講座 回数:4回 参加人数:143人 ・『八戸市史 地誌編』を活用した講座 ふるさとてくてく旅 回数:4回 参加人数:79人	・近世史講座 回数:4回 参加人数:240人 ・『八戸市史 地誌編』を活用した講座 ふるさとてくてく旅 回数:4回 参加人数:91人	平成30年度は『八戸市史 民俗編』をテーマにした講座を開催し、今後も継続実施。	八戸市立図書館
89	古文書の解読・整理	H8	県重宝の「遠山家日記」及び八戸市指定文化財である「八戸藩日記」の解読本ならびに「市史双書」の刊行を行い、図書館所蔵古文書の整理を推進し市民が利用できるよう努める。	県重宝の「遠山家日記」及び八戸市指定文化財である「八戸藩日記」の解読本ならびに「市史双書」の刊行を行い、図書館所蔵古文書の整理を推進し市民が利用できるよう努める。	7,508	8,403	解読冊数32冊 (藩日記607冊のうち累計507冊)	解読冊数15冊 (藩日記607冊のうち累計522冊)	継続して実施していく	図書館

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度決算額	29年度当初予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
90	古文書解読講習会	S60	郷土の歴史や古文書への知識を深める	八戸市指定文化財の「八戸藩日記」を活用した解読講習会を開催することにより、その内容を市民に広く公開するとともに、古文書解読者育成の足がかりとする	102	102	基礎講座 7回開催 受講者数 延べ92人	基礎講座 7回開催 受講者数 延べ130人	八戸市所有の貴重な古文書を広く市民に知っていただくと共に、古文書解読の人材育成のきっかけとするため今後も継続実施したい。	図書館
91	常設展示	S58	博物館所蔵資料等の常設展示	考古・歴史・民俗・無形資料のテーマごとに、八戸の歴史を体系的に紹介	-	-	入館者数:延べ19,100人…特別展、企画展開催中含む(開催中も常設展閲覧可) 開館日数:313日 季節ごとに展示資料の一部入替え実施	入館者数:延べ16,662人…平成30年1月末まで 特別展、企画展開催中含む(開催中の常設展閲覧可) 開館日数:314日(予定) 季節ごとに展示資料の一部入替え実施	継続実施	博物館
92	特別展・企画展開催事業	S58	特別展・企画展及び関連事業の開催	毎年、特別展を2回、企画展を4回程度開催	11,934	12,154	○特別展「かつば展」開催 併催事業(テープカット・講演会・ギャラリートーク・ワークショップ・館外講座)開催 ○特別展「根城のお殿様の手紙展」開催 併催事業(講演会・ギャラリートーク・館外講座)開催 ○企画展「新収蔵資料展」「八戸の災害」「えんぶり展」「ひな人形展」開催 併催事業(ギャラリートーク)開催 ○日本百名城選定10周年記念ミニパネル展「根城が百名城になるまで」開催 ○新春ミニ企画「えと展-とり-」開催	○特別展「キレモノ-八戸市博物館所蔵刀剣資料展-」開催 併催事業(講演会・初心者講座・ギャラリートーク・コレクショントーク)開催 ○市制施行88周年記念特別展「米-育てる・食べる・折る-」開催 併催事業(講演会・体験講座・ギャラリートーク・特別イベント「お米大使がやってきた!」)開催 ○企画展「新収蔵資料展」「えんぶり展」「ひな人形展」開催 併催事業(ギャラリートーク)開催 ○ミニパネル展「八戸の災害」開催 ○新春ミニ企画「えと展-いぬ-」開催	特別展を2回、企画展を4回程度開催予定	博物館
93	収蔵資料保存修復事業	H24	博物館収蔵資料の保存修復	修復が必要な資料を、優先度の高いものから順次修復	1,620	1,774	大名行列(ひな人形) 約30点うち15点修復	大名行列(ひな人形) 約30点のうち16点修復	婚礼調度品(漆器)ほか保存修復	博物館
94	体験学習	-	小学校を対象に昔の生活について学習する。	小学校(主に3学年)を対象に実施。実物資料を使って昔の生活(石臼・水汲み・洗たく・着物の試着など)を体験する。各学校の来館見学时に併せて実施することが多い。	-	-	市内外小学校(主に3学年)延べ23校で実施。	市内外小学校(主に3学年)延べ30校で実施。	各学校の要望により実施	博物館
95	出前授業	-	小学校を対象に昔の生活について学習する。	小学校(主に3学年)を対象に実施。要望のテーマに応じて実物資料を学芸員が各学校へ持っていき、講義や体験学習を行う。	-	-	市内外小学校 計4校で実施。	市内外小学校 計4校で実施。	各学校の要望により実施	博物館

※事業費の単位:千円

No.	事業名	開始年度	事業目的	事業概要	28年度 決算額	29年度 当初 予算額	28年度事業実施状況	29年度事業実施状況(年度末までの実施見込含む)	30年度以降の実施方針	担当課名
96	展示解説	-	博物館の展示資料等の解説	主に小・中学校を対象に、要望のテーマや学年・目的に応じた展示解説を実施。	-	-	市内外小・中学校 延べ46校の来館見学で実施。	市内外小・中学校 延べ45校の来館見学で実施。	各学校の要望により実施	博物館
97	資料調査	-	地域の文化財の調査研究	地域の文化財を調査研究し、その成果を展示や紀要などで公開する。	308	551	市内資料調査 研究紀要の発行	市内資料調査 研究紀要の発行	継続実施	博物館
98	資料収集	S58	博物館収蔵資料として収集・保存	資料の寄贈を受けることにより、郷土の歴史や文化を示す資料を収集・保存する。	-	-	寄贈(考古・歴史分野) 74点	-		博物館